

# 結露防止システム「ノン結露」施工要領書

「ノン結露」は下塗り材7kg、仕上げ材15kgの2種類の塗り材を1セットとして出荷しております。


この1セットで、結露発生面に対し20㎡の以内面積で使用して下さい。

ただし、冷蔵庫・冷凍庫周辺の結露、冷水管等結露発生が激しい場所は10㎡以内の面積で使用して下さい。  
(塗装厚が厚いほど効果を増します)

※結露発生が激しい場所での使用、施工環境及び施工に関する不明点は、必ず販売店へご相談ください。

※ノン結露の本施工前に、ノン結露シートにて事前テストをお願いします。(仕様:15㎡/セット)

**塗装面が湿った雰囲気、結露雰囲気にある場合は塗装できません。**  
**また塗装後、結露発生雰囲気にならない状態で1ヶ月以上の乾燥が理想です。**  
**十分な乾燥後に能力を発揮します。**

下準備	塗装をする前に塗装面を、送風機等で十分に乾燥させてから塗装作業に移して下さい。 (結露あるいは水分を含んだ所に塗装すると剥離の原因となります)	
塗装具	刷毛・ローラー・エアガン・エアレスガン・温風低圧塗装機で塗装できます。	
攪拌	電動攪拌機(大きい羽)にて下塗り材、仕上げ材それぞれ十分に(3分以上)攪拌して下さい。(セラミックと樹脂が分離していますので攪拌は必ず行って下さい)	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>攪拌羽はこのタイプの物が 最良です。</b></p> </div> 	
I	素材は必ずケレン・清掃・洗浄(高圧洗浄)・カビ処理等を行い、素材に合った下地処理材で処理をして下さい。 【下地処理材】 コンクリート面はシーラー・フィーラー(下地調整材)、鉄部は変性エポキシ錆止め塗材、被塗物は密着プライマー等をお勧めします。	
II	下塗り材	ノン結露下塗り材(0.35kg/㎡) 塗装回数:必ず2回以上に分けて塗装して下さい。乾燥時間:4時間以上(20℃) <b><u>※十分に乾燥させてから仕上げ材を製験して下さい。</u></b> 【希釈量】 刷毛・ローラー:0~750cc ガン吹き:0~1,000cc (1缶当たり) ※ローラー施工の場合、鉄板やボード等の塗布面が滑りやすい物に塗布する場合は、1回目は希釈量を多目にし、ローラーが滑らずに回るような濃度で塗装して下さい。 2回目以降は、通常希釈量にて塗布量を確保して下さい。
	仕上げ材	ノン結露仕上げ材(0.75kg/㎡) 塗装回数:必ず2回以上に分けて塗装して下さい。乾燥時間:20時間以上(20℃) 【希釈量】 刷毛、ローラー:0~1,500cc ガン吹き:0~3,000cc (1缶当たり)
III	乾燥	自然乾燥にて十分な乾燥時間を取って下さい。施工環境により、やむなく強制乾燥する場合は、送風・ジェットヒーター等で、緩やかな乾燥を行なって下さい。
〈特記事項〉	<p>本塗料は塗装乾燥後でも塗膜表面はやや柔らかく、塗膜に傷をつけないように取扱に注意が必要です。雨天、強風、多湿の日を避け、天気の良い日を選んで塗装して下さい。(水性塗材ですので、気温5℃以上、湿度65%以下の環境で施工して下さい。)</p> <p>※ノン結露の塗膜表面が、若干湿った感じになりますので「抗菌・防カビタイプ」をお勧めします。 ※仕上げ材・下塗り材共に製造後3ヶ月以内に使い切ってください。 ※取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、保護マスクを着用して下さい。また、塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。</p>	

## ◎結露している状態の箇所への塗布は不可

- 結露していない状態にしてから塗布することが必須条件です。  
(低温配管/タンク等はオペレーション中の塗布は出来ません)
- 乾燥を充分にすること。塗布後最低1週間～10日間は乾燥させること。
- 塗装後充分乾燥されないと変に固まり、結露を防ぐ性能が充分出ない可能性がありますので、充分注意して作業にかかって下さい。
- カビが大変生え易いですので、防カビ剤「インナーミル」を均質3%混入することをお奨めいたします。

2020年1月

株式会社エプロ  
お問合せ 03-5225-1657